

①人選

指導課が通知した配置人数の範囲内で、各学校にて生活指導員を確保します。指導課作成の「希望者名簿」を活用することもできます。

都講師の方で授業の振替ができない場合は、別の指導員を探してください。

要配慮の加配は、事務連絡の提出があれば確認し、検討します。加配希望人数と加配が必要な理由を明記し、提出期限までに指導課へ提出してください。

＜生活指導員希望者名簿 データ保存場所＞

■MSIS Fileshare(校務領域)→武蔵野市→学校共有→全校→00 全校共通→03 セカンドスクール生活指導員名簿

②配置基準（原則）

- ・小学校：集団宿泊 10～15 名程度に指導員 1 名 民宿分泊 1 宿につき男女各 1 名
- ・中学校：生徒数÷15 ただし、算出された人数が分宿数より少ない場合は、分宿数（例外あり）

③要件

- ・全日程参加
- ・実施期間中は、必ず健康保険証（原本が望ましい）を携行

④事前打ち合わせ（上限 3 時間*）の実施 *事前打ち合わせは、短時間で効率的に行う。

- ・報酬、勤務時間、保険等の勤務条件について必ず説明する。
- ・現地でかかる費用は公費負担とするが、**本人が立て替え払いした場合は後から公費負担できない旨**を伝える。
- ・誓約書裏面を本人に示しながら生活指導員が守るべき事項について必ず説明する。
- ・**宿で児童・生徒が器物を損傷した場合は必ず写真を撮る**ことを伝える。
- ・本番前 14 日間と本番中の健康観察を依頼する。必要に応じて「生活指導員健康観察票」をご活用ください（指導課への提出不要）。
- ・本番に、体温計を持参するように伝える。

（令和 5 年度セカンドスクール・プレセカンドスクール実施の手引きより）

生活指導員の確保について ○…第 1 回検証委員会で挙げられた意見を整理したもの

○大学、NPO 法人等、生活指導員の募集先をまとめ一元化したり、経験したことのある生活指導員内の次年度希望者の名簿を作成したりして、市内学校で共有する。

○リピーターとして応募、事前事後学習を含めた参加など、好事例の収集・検証を行う。

○生活指導員の勤務形態や内容等について、事後アンケートをもとにして、必要に応じて見直しや改善を図る。令和 6 年度から順次取り組んでいく。

→第 1 回の議論を踏まえ、募集先一覧表や生活指導員希望者名簿の共有や、確保に効果的であった好事例について検討を行うのはどうか。

→生活指導員の勤務として、以下のように示してはどうか。

- ・活動時間中に、定期的な休憩時間をとる。
- ・児童・生徒の就寝時間以降は、基本的には業務終了とする。
- ・就寝時は、施設ができる各自の部屋で過ごせるようにするなど、生活指導員の負担を考慮した工夫を学校・宿の実態に応じて行う。
- ・仕事内容・守るべき事項については、別紙資料の通りとする。

セカンドスクール・プレセカンドスクール 生活指導員が守るべき事項

～以下の項目で管理職から指導を受けた内容にご自分でチェックをつけてください～

- 生活指導員は、児童・生徒と接するときは、「先生」であることを自覚し、相手がどのような印象を持つか常に考え、身だしなみを整え、言葉遣いにも配慮すること。
- 児童・生徒と連絡先（メールアドレスやSNSのID等を含む）を交換しない。
- 緊急連絡時以外には、携帯電話やスマートフォン等を見せない、使わない。
- 教員の指示なしに児童・生徒の写真・動画・音声を撮影または録音等しない。
- 職務上知り得たことは、職務中も職を退いた後も、一切他に漏らさない。これは、口頭・文書・電子他形態を問わない。
- Facebook、Twitter、blogその他形態を問わず、WEB上に、児童・生徒に関する情報を掲載しない（氏名などの直接的記載がなくても画像や言い回しで個人が特定されることがある）。
- 児童・生徒を自室に入れない。（生活指導員に個別の部屋が割り当てられている場合）
- 児童・生徒に対して指導上、不必要な身体接触は行わない。
【具体例】首・胸・脇・腰・でん部・大腿部等を触る／抱きしめる／頬ずりする／膝に乗せる 等。 ※着衣の上からの身体接触も含みます。
- 児童・生徒の身体に ①直接的に肉体的苦痛を与える行為（殴る、蹴る、たたく、投げる等）、②間接的に肉体的苦痛を与える行為（長時間にわたる正座・起立等）は体罰であり、こうした行為は行わない。
- 児童・生徒の身体に肉体的負担を与える程度の軽微な有形力の行使は、不適切な指導であるため、こうした行為は行わない。
【具体例】手をはたく（しっぺ）／おでこを弾く（デコピン）／尻を軽くたたく／小突く／拳骨で押す／胸倉をつかんで説教する／襟首をつかんで連れ出す 等。
- 児童・生徒に恐怖感、侮辱感、人権侵害等の精神的苦痛や負担を与える言動は、暴言等に当たることであり、こうした行為は行わない。
【具体例】罵る／脅かす／威嚇する／身体・能力・性格・風貌等、人格を否定する／馬鹿にする／集中的に批判する／犯人扱いする 等。
- その他、法令を遵守し、職員を尊重して行動する。

◆生活指導員の仕事内容◆

セカンドスクール実施中の宿舎内外における子どもたちの健康・安全など、生活に関わる援助や、必要に応じた指導、体験活動中は教員の補助などを行います。

事前打ち合わせで、学校の求める役割・仕事内容をしっかりと確認・把握したうえで従事してください。

R 4 生活指導員アンケート

Q1 教員志望ですか

	志望している	83	やや志望している	19	どちらともいえない	15	志望していない	32
--	--------	----	----------	----	-----------	----	---------	----

Q2 (プレ) セカンドスクールを経験してことで教員志望の状況は変化しましたか

	変化した	23	やや変化した	25	どちらともいえない	22	変化していない	78
--	------	----	--------	----	-----------	----	---------	----

Q3 (プレ) セカンドスクールの実施は意義ある事業として感じましたか

	感じた	138	やや感じた	14	どちらともいえない	0	感じていない	0
--	-----	-----	-------	----	-----------	---	--------	---

Q4 (プレ) セカンドスクール実施前後で子どもの様子に変化を感じましたか

	感じた	116	やや感じた	23	どちらともいえない	9	感じていない	1
--	-----	-----	-------	----	-----------	---	--------	---

Q5 (プレ) セカンドスクールに対して子どもが満足感を得ていると思いますか

	思う	125	やや思う	23	どちらともいえない	3	思わない	0
--	----	-----	------	----	-----------	---	------	---

Q6 (プレ) セカンドスクールに指導者として参加してみたいと思いますか

	はい	133	いいえ	12		1		0
	(はい) ・自分も成長できるため ・回数を重ねることで余裕が出てくると思うので ・子ども達の成長を目の前で見たいから ・教員として働くために必要な資質を学べる ・楽しくて、やりがいがあった ・1年の変化として子どもの成長を見てみたいから ・子どもの新しい一面に気付いた ・自分の反省点をもう一度生かして過ごしたいため ・子供が自身の力や他者との協力で生活していく様子、成長する姿を見ることが出来るため ・指導員の立場ならではの視点から子ども達を見ることができ、様々な学びができるから (いいえ) ・4年生になると教育実習、教員採用試験など日程的に厳しい ・指導者としては大変過ぎて参加したくない ・正直、2泊でもくたくたであった ・自分の体力的に難しいため ・指導員としての負担が多いが休憩時間、自由時間が少ないため ・子どもの命を預かることの大変さを知ったため							

裏面あり

Q7	今後のセカンドスクールをより充実させていくための提案やご意見、ご感想がありましたら自由に書いてください。
	・とてもよかったと思います。これからの教育にも生きると思います ・4年生の奥多摩がよかった。社会科で学習している内容で、学びが深まったように感じた ・昨年も参加して、今年もこのあとまた参加します ・教員を目指す上で、必要な力、子どもとの接し方、生活について考えるよい機会となった ・ある程度子どもの意見を反省させながら日程やルールを決めるとよい。活動での子どもの様子が受け身だと感じた ・事前交流会などあって初日から打ち解けられるとより良い ・事前に児童の情報を教えてもらえるとよい ・これからもセカンドスクールがなくならずに続いてほしい ・指導員の労働状況、負担を軽減してほしい ・大きな経験をさせていただきました ・安全面に力をいれてほしい ・児童が写真を撮れるようにする ・児童がお金を使えるようにしてお土産を購入できる ・スケジュールを早めに知らせてほしい ・行程がタイトだと感じた。宿の方との活動がもっとあるとよかった ・臨時の生活指導員への指示があいまいでわかりずらかった ・指導員募集を大学等に宣伝する。武蔵野市がセカンドをやっていることを知っている大学が少ない ・ICTを活用して、情報共有を楽にできるとよい ・体力的にきつかったのが自分にとっては負担に感じた ・宿ごとのルールの統一があるとよい。 ・子どもに名札をつけてもらう ・包丁の扱いなど家庭科でやっていないことを、初めて体験するのは危ないと感じた ・指導員同士の話し合う時間がとても有意義だったので、次回も継続してほしい